

# 経済学専攻

Graduate School of Economics / Major in Economics

募集人員：修士課程 50名／博士後期課程 10名 | 開講形態：**昼夜開講** | キャンパス：市ヶ谷（一部に多摩で開講される科目があります）  
主な進路：教育関連（教員）など

経済学研究科は、1951年の創立以来、一流の教授陣のもと、多くの優れたエコノミスト、研究者を輩出してきました。1992年には他大学に先駆けて夜間社会人大学院を設置し、2003年には博士後期課程を昼夜開講制にするなど、常に時代や社会の新しいニーズに応え続けてきました。2014年度からは、多様化の進展とともに高度に専門化する21世紀のグローバル社会に対応できる人材養成をこれまで以上に推し進めるために、昼夜開講制の「修士（M.A.）プログラム」と「博士5年（Ph.D.）プログラム」に抜本的に制度変更し、より質の高い教育プログラムを提供していきます。2017年度より、「経済学研究科修士課程1年制コース」が設置されます。

## ■ 修士（M.A.）プログラム 昼夜開講制

「修士（M.A.）プログラム」は、経済学研究科修士課程の教育目標である「新しい経済社会を創り出す知性と意欲を持った『応用エコノミスト』や『高度職業人』、また生涯学習における『高度教養人』を養成する」ための修士課程プログラムです。プログラムの履修要件を満たし、修士論文を提出して口述試験に合格することで修士号が授与されます。

※修士（M.A.）プログラムでは、指導教員の指導・了解の下、「リサーチペーパー」をもって修士論文に代えることができます。その場合、34単位以上が修了要件となります。

## アドミッション・ポリシー

（学生の受け入れ方針）

教育目標に掲げる人材の資質に適合する、旺盛な勉学意欲と研究志向を併せ持つ人材の国内外、学部新卒・社会人からの受け入れ。

## カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成・実施方針）

国際的通用性のある教育課程をコアに、修士課程の教育目標、ディプロマ・ポリシーの実現を目指す科目編成と教育内容・方法の実践。

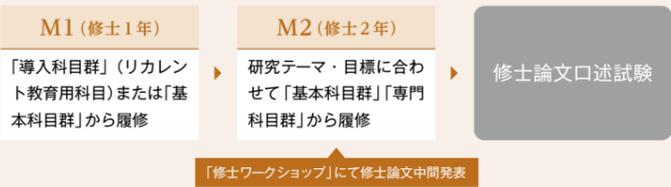
## ディプロマ・ポリシー

（学位授与の方針）

各々の分野における「応用エコノミスト」「高度職業人」「高度教養人」としての経済学の研究基礎力と自立的な研究能力の達成。

## 修士（M.A.）プログラム 修了要件

導入科目群、基本科目群	12 単位以上
「論文指導Ⅰ」「論文指導Ⅱ」「修士ワークショップ」	6 単位以上
合計	30 単位以上



## 研究室紹介 | マクロ経済学・公共経済学を学ばずして、日本経済や財政・社会保障は語れない

小黒教授 | マクロ経済学、公共経済学

現在の日本経済や財政は、「経済成長の停滞」「財政赤字」「社会保障費の急増」「世代間問題」など、大きな問題に直面しています。そこで、小黒一正研究室では、これら問題の解決に参考となりそうな学術論文や文献を輪読し、マクロ経済学・公共経済学の理論に基づいて分析や考察を行っています。その際、「実践的な知」と「学術的な知」をいかに統合できるか、という視点も重視しています。各回の報告には入念な準備が求められますが、研究室での議論を通じて、私にも毎回新しい発見があります。最近では金融政策に関する洋書を輪読しており、お互いに学び合う雰囲気大切にしています。



## Voice



修士後期課程 在学中  
前原 鮎美

多様な研究科の中で、横断的に授業を履修。希少価値の高い文献・資料が多いことも魅力！

### 進学のきっかけ

私は、法政大学経済学部でワーク・ライフ・バランスとジェンダー平等に関する卒業論文を執筆中、女性の社会進出が進みつつある現代でも、女性の能力発揮が十分にできる状態ではないことを認識しました。そこでイギリス経済学者 J.S.ミルの『女性の隷従』を手掛かりに、女性問題の歴史的・思想的背景を探り、女性の解放について考察したいと思ひ、大学院進学を決意しました。

### 大学院の魅力

法政大学大学院には多様な研究科が設置され、研究科横断的な授業の履修が可能です。さらに他大学院との単位互換制度により、研究課題を多角的な視点から考察できる点が魅力です。また、多摩キャンパスにある大原社会問題研究所には、希少価値の高い歴史的文献・資料が多く保管されていることも魅力的です。恵まれた研究環境と研究仲間を支えられ、博士後期課程に進学後の現在も有意義な時間を過ごしています。

【研究テーマ】  
経済学とジェンダー

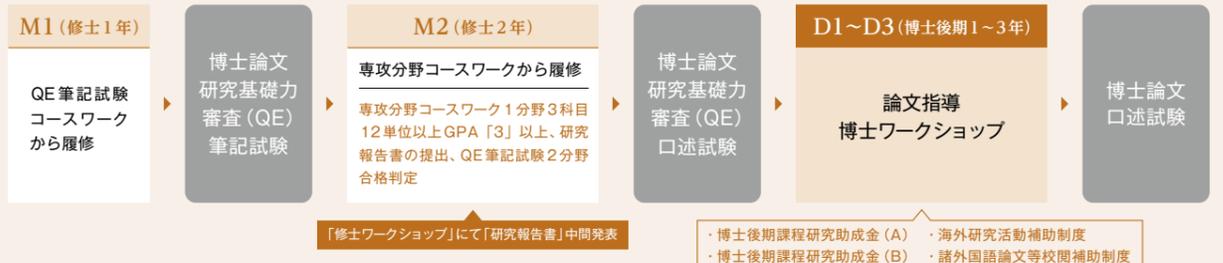
## ■ 博士5年（Ph.D.）プログラム 昼夜開講制

「博士5年（Ph.D.）プログラム」は、経済学研究科博士後期課程の教育目標である「地球社会が直面する諸問題の解決に挑戦する意欲的な専門研究者養成」のための修士課程・博士後期課程5年一貫の教育プログラムです。プログラムの履修要件（修士課程分）を満たし「博士論文研究基礎力審査（QE）」に合格することで博士後期課程に進学し、研究プロジェクトと内外での研究発表・公表を進め、博士論文を執筆します。

※博士後期課程に進学と同時に修士号が授与されます。  
※「修士1年制コース」では、1年で修士取得＋3年の博士後期課程で「博士4年プログラム」になります。

## 博士5年（Ph.D.）プログラム 修了要件

導入科目群、基本科目群（QE筆記試験コースワークを含む）	12 単位以上
専門科目群「専攻分野コースワーク」	12 単位以上
修士課程合計	30 単位以上
博士後期課程合計	14 単位以上



## 経済学研究科博士後期課程修了者対象助教採用制度

博士号取得者には、経済学部助教採用（4年任期）の可能性がありますが、※経済学部の採用枠内の募集によります。採用には教授会による審議・承認が必要となります。

## カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成・実施方針）

国際的通用性のある教育課程をコアに、研究基礎力・先端的研究遂行能力を含めた博士後期課程の教育目標、ディプロマ・ポリシーの実現を目指す科目編成と教育内容・方法の実践。

## ディプロマ・ポリシー

（学位授与の方針）

国際社会に発信力のある新たな知的創造のために必要な研究遂行能力の達成。

## 履修単位列

M1（修士1年）	導入科目群、基本科目群から1科目	4 単位
	QE筆記試験コースワーク 基本科目群から2科目	8 単位
M2（修士2年）	専攻分野コースワーク 専門科目群から3科目	12 単位
	論文指導Ⅱ	4 単位
	修士ワークショップ	2 単位
修士課程合計		30 単位
D1（博士後期1年）	論文指導Ⅲ	4 単位
D2（博士後期2年）	論文指導Ⅳ	4 単位
D3（博士後期3年）	論文指導Ⅴ	4 単位
	博士ワークショップ	2 単位
博士後期課程合計		14 単位

※M1（修士1年）で「論文指導Ⅰ」を履修可能 ※専攻分野コースワークは、M1でも履修可能

## 博士論文研究基礎力審査（QE）

「博士論文研究基礎力審査（QE）」とは、専攻分野に関連する基礎的素養とその分野に対する高度な専門知識・能力についての試験と、博士論文研究を主体的に遂行するために必要な能力についての審査をいいます。より具体的には、次の試験・審査からなります。

### 1. 「QE筆記試験」

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「社会経済学」「計量経済学」「経済史」から、2分野の包括的試験の合格

### 2. 「QE口述試験」

「専攻分野コースワーク」6科目12単位の履修においてGPA「3」以上を取得し、博士論文研究を行う分野に係る研究の背景や意義・展望に関する認識や課題を設定し研究を推進する能力等を評価するための「研究報告書」を提出し、口述試験に合格

## 2017年度入試より 経済学研究科 修士課程1年制コースが 設置されます。

商社・銀行などの経済学の研究に関連する実務経験やシンクタンクなどで研究業績が十分であると認められる社会人と、本学経済学部を優秀な成績で卒業しQE科目を先取り履修しQE筆記試験に合格した学生に、アカデミックな経済学を短期間で学べる環境を提供します。「M.A.プログラム」、「Ph.D.プログラム」のいずれかに所属します。

※「Ph.D.プログラム」では、1年で修士取得＋3年の博士後期課程で「博士4年プログラム」になります。

## ■専任教員と担当科目

(2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 **専** 専門領域 **研** 研究テーマ **担** 担当科目

<b>梅津 亮子</b> 教授 <b>専</b> 管理会計、原価計算論
<b>研</b> 管理会計、コストマネジメントの諸問題について考察する
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>奥山 利幸</b> 教授 <b>専</b> 理論経済学
<b>研</b> 景気・成長の動学・ミクロ・ゲーム理論分析
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>小沢 和浩</b> 教授 <b>専</b> 情報処理論
<b>研</b> ソフトコンピューティングによるデータ解析手法
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>河村 真</b> 教授 <b>専</b> 産業組織論
<b>研</b> 産業やマクロ経済のデータを用いた統計学的分析
<b>担</b> 実証経済学基礎A 応用ミクロ経済学A

<b>岸 牧人</b> 教授 <b>専</b> 監査論
<b>研</b> 企業財務と公認会計士監査
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>小林 克也</b> 教授 <b>専</b> 地方財政論・ミクロ経済学の応用
<b>研</b> 政府間関係の分析や政府組織についての理論分析
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>酒井 正</b> 教授 <b>専</b> 労働経済論
<b>研</b> 社会保障制度と就業との関係についての実証分析
<b>担</b> 労働経済学A/B

<b>佐藤 良一</b> 教授 <b>専</b> 社会経済学
<b>研</b> ラディカル派経済学の理論的展開過程を検討しつつ、新たな経済学の可能性を探る
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>菅 富美枝</b> 教授 <b>専</b> 民法(契約法)、消費者法
<b>研</b> 契約当事者間における交渉力の格差や非良心的取引をめぐる法的諸問題の分析
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>菅原 琢磨</b> 教授 <b>専</b> 経済政策、社会政策、医療経済
<b>研</b> 医療・福祉・介護政策、医療品・医療機器産業の分析
<b>担</b> 社会保障論A/B

<b>鈴木 豊</b> 教授 <b>専</b> 契約理論、企業の理論、制度の契約理論分析
<b>研</b> ガバナンスの比較セクター分析：ゲーム理論・契約理論によるアプローチ
<b>担</b> ミクロ経済学A

<b>竹口 圭輔</b> 教授 <b>専</b> 財務会計論
<b>研</b> ストック・オプションを中心とする株式報酬の会計
<b>担</b> 現代ビジネスA

<b>竹田 茂夫</b> 教授 <b>専</b> 理論経済学
<b>研</b> 経済学の批判的検討・「法と経済学」
<b>担</b> 経済学基礎A/B

<b>田村 晶子</b> 教授 <b>専</b> 国際経済、マクロ経済学
<b>研</b> 国際経済の理論と実証分析
<b>担</b> マクロ経済学A 応用マクロ経済学A

<b>長原 豊</b> 教授 <b>専</b> 経済史、日本経済史、経済理論、経済学方法論
<b>研</b> 日本経済史、経済理論、経済学方法論（「レント資本主義論」を主題にしています）
<b>担</b> 経済史B

<b>朴 侗玄</b> 教授 <b>専</b> 都市地理学
<b>研</b> 文化産業と企業行動のグローバル化と国際的都市システム
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>絵所 秀紀</b> 教授 <b>専</b> 開発経済論、インド経済論
<b>研</b> 発展途上国の経済開発と国際協力、インド経済分析
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>小黒 一正</b> 教授 <b>専</b> 財政学、公共経済学
<b>研</b> 人口動態と政治経済の相互作用や世代間問題の分析
<b>担</b> 財政学A/B

<b>河村 哲二</b> 教授 <b>専</b> アメリカ経済論、世界経済論、理論経済学
<b>研</b> 現代アメリカ経済とそのグローバル・インパクトーパックス・アメリカナの再編と転換
<b>担</b> 社会経済学B 地域経済論I B

<b>菊池 道樹</b> 教授 <b>専</b> 中国经济論
<b>研</b> 中国经济の現状、成長要因の日中比較
<b>担</b> 地域経済論II A・B

<b>後藤 浩子</b> 教授 <b>専</b> イギリス社会思想史
<b>研</b> グローバリゼーションもとの国民国家の変容
<b>担</b> ジェンダー経済論A/B

<b>近藤 章夫</b> 教授 <b>専</b> 経済地理学、地理情報システム論
<b>研</b> 都市・産業集積と経済発展、立地と分業の国際比較、イノベーションの空間経済分析
<b>担</b> 都市経済政策論A/B

<b>佐柄 信純</b> 教授 <b>専</b> 数理経済学、函数解析学
<b>研</b> 最適成長論、協力ゲーム理論
<b>担</b> ミクロ経済学B 応用ミクロ経済学B

<b>胥 鵬</b> 教授 <b>専</b> 金融ファイナンス、法と経済学
<b>研</b> 企業金融、国際金融、企業統治
<b>担</b> 金融ファイナンス基礎A/B

<b>菅 幹雄</b> 教授 <b>専</b> 経済統計
<b>研</b> ビジネスレジスター、経済センサス、産業連関表
<b>担</b> 統計学A/B

<b>杉浦 未樹</b> 教授 <b>専</b> 世界経済史
<b>研</b> 中近世都市における流通と消費
<b>担</b> 経済史A

<b>砂田 充</b> 教授 <b>専</b> 経済学、企業経済論
<b>研</b> 産業組織論、企業経済学、応用ミクロ経済学
<b>担</b> 企業経済学B

<b>武田 浩一</b> 教授 <b>専</b> 金融論
<b>研</b> 金融の応用ミクロ経済分析
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>武智 一貴</b> 教授 <b>専</b> 国際経済学
<b>研</b> 距離と貿易コストの関係の実証分析
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>永岡 文庸</b> 教授 <b>専</b> 経営者、企業戦略、知的財産権、新規事業
<b>研</b> 企業の成衰（成功と失敗の本質）
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>西澤 栄一郎</b> 教授 <b>専</b> 環境政策論
<b>研</b> 欧米の環境政策、環境保全型農業・農村の構築
<b>担</b> 環境政策論A/B

<b>馬場 敏幸</b> 教授 <b>専</b> アジア経済、技術移転、技術経営、高等教育
<b>研</b> アジアの発展と日本の役割、技術変遷が経済に与えたインパクトについて
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>原 伸子</b> 教授 <b>専</b> 社会経済学、経済学史
<b>研</b> 福祉国家の変容と家族、ジェンダーの政治経済学
<b>担</b> 社会経済学A ジェンダー経済論A/B

<b>ブー・トウンカイ</b> 教授 <b>専</b> 国際マクロ経済学の理論と実証
<b>研</b> アジア諸国の経済成長、貿易、為替制度
<b>担</b> 国際金融論A/B

<b>松波 淳也</b> 教授 <b>専</b> 環境経済学
<b>研</b> 循環型社会形成に向けた社会経済システム
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>宮脇 典彦</b> 教授 <b>専</b> 経営統計学、経営科学、データ解析
<b>研</b> 経営分析と情報、統計学とその応用
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>山本 真鳥</b> 教授 <b>専</b> 文化人類学、経済人類学
<b>研</b> 互酬性と市場交換ー経済人類学のパースペクティヴ、グローバリゼーションと文化
<b>担</b> ジェンダー経済論A/B

<b>渡部 亮</b> 教授 <b>専</b> 国際ビジネス論、国際マーケティング論
<b>研</b> 国際ビジネスの基盤である法・貨幣・言語の研究、内外主要企業の研究
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>高橋 秀朋</b> 准教授 <b>専</b> ファイナンス
<b>研</b> 株式市場の効率性の検証、マーケット・マイクロストラクチャー
<b>担</b> 実証ファイナンスA/B

<b>濱秋 純哉</b> 准教授 <b>専</b> 公共経済学、応用計量経済学
<b>研</b> 社会保障、租税、労働分野のミクロ計量分析
<b>担</b> 計量経済学B

<b>明城 聡</b> 准教授 <b>専</b> 実証産業組織論、応用統計学
<b>研</b> 構造推定による市場分析と政策評価、統計分析手法の開発
<b>担</b> 計量経済学A ミクロ計量分析A/B

## ■設置科目

(2016年度) ※開講科目は年度により異なります。( ) 内は単位数

<b>&lt;修士課程&gt;</b>	論文指導II A/B(各2)	企業経済学A/B(各2)
<b>【導入科目群】</b>	特別講義I A/B～IV A/B(各2)	金融システム論A/B(各2)
<b>・リカレント教育用科目</b>	・研究応用力、	金融経済学A/B(各2)
<b>経済学基礎A/B(各2)</b>	<b>専攻分野名・専攻分野コースワーク科目</b>	現代ビジネスA/B(各2)
<b>経済数学A/B(各2)</b>	<b>歴史・思想・制度</b>	国際金融論A/B(各2)
<b>金融ファイナンス基礎A/B(各2)</b>	応用マクロ経済学A/B(各2)	実証ファイナンスA/B(各2)
<b>実証経済学基礎A/B(各2)</b>	応用ミクロ経済学A/B(各2)	統計学A/B(各2)
<b>統計学基礎A/B(各2)</b>	開発経済論A/B(各2)	<b>政策・環境</b>
<b>【基本科目群】</b>	金融システム論A/B(各2)	応用マクロ経済学A/B(各2)
<b>論文指導I A/B(各2)</b>	経済学史A/B(各2)	応用ミクロ経済学A/B(各2)
<b>・研究基礎力、</b>	財政学A/B(各2)	環境経済論A/B(各2)
<b>QE筆記試験コースワーク科目</b>	ジェンダー経済論A/B(各2)	環境政策論A/B(各2)
<b>経済史A/B(各2)</b>	地域経済論I A・B/ II A・B(各2)	経済政策A/B(各2)
<b>計量経済学A/B(各2)</b>	統計学A/B(各2)	経済地理学A/B(各2)
<b>社会経済学A/B(各2)</b>	日本経済論A/B(各2)	公共経済学A/B(各2)
<b>マクロ経済学A/B(各2)</b>	法と経済学A/B(各2)	財政学A/B(各2)
<b>ミクロ経済学A/B(各2)</b>	<b>金融・企業</b>	社会保障論A/B(各2)
<b>【専門科目群】</b>	応用マクロ経済学A/B(各2)	都市経済政策論A/B(各2)
<b>修士ワークショップA/B(各1)</b>	応用ミクロ経済学A/B(各2)	統計学A/B(各2)

### 「修士(M.A.)プログラム」履修単位列

<b>M1(修士1年)</b>	導入科目群、基本科目群から3科目 論文指導I	12単位 4単位
<b>M2(修士2年)</b>	基本科目群、専門科目群から2科目 論文指導II 修士ワークショップ	8単位 4単位 2単位
<b>合計</b>		<b>30単位</b>

※専門科目群は、M1(修士1年)でも履修可

※「修士ワークショップ」において修士論文中間発表

※「プログラム」とは、履修上の区分であり、修士課程のみで修了しようとする方は「修士(M.A.)プログラム」に沿った履修を、修士課程から博士後期課程に進学しようとする方は「博士5年(Ph.D.)プログラム」に沿った履修を行います。  
※修士課程入学前に科目等履修生として「導入科目群」あるいは「基本科目群」のいくつかを履修することも可能です。科目等履修生として履修した科目は、修士課程入学後、申請・審査の上、10単位まで単位認定されます。

<b>廣川 みどり</b> 教授 <b>専</b> 社会選択論、公共経済学
<b>研</b> 制度の形成についてのミクロ経済学的基礎
<b>担</b> 経済数学A/B

<b>牧野 文夫</b> 教授 <b>専</b> 日本経済、経済発展
<b>研</b> 中国の経済発展と教育に関する実証研究、東アジア諸国の経済発展の比較
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>宮崎 憲治</b> 教授 <b>専</b> 計量経済学
<b>研</b> マクロ経済学の計量経済学
<b>担</b> マクロ経済学B 応用マクロ経済学B

<b>森 博美</b> 教授 <b>専</b> 統計学、経済統計学
<b>研</b> 各国統計制度の比較研究、データアーカイブ論
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>湯前 祥二</b> 教授 <b>専</b> ファイナンス
<b>研</b> リスク管理、コンピューショナル・ファイナンス
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>篠原 隆介</b> 准教授 <b>専</b> 公共経済学・ゲーム理論・ミクロ経済学
<b>研</b> 公共財供給、戦略的協力ゲーム理論
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>田中 優希</b> 准教授 <b>専</b> 財務会計論、環境会計
<b>研</b> 企業の環境情報開示
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>平瀬 友樹</b> 准教授 <b>専</b> 経済理論形成史
<b>研</b> 戦間期におけるマクロ経済分析の再評価
<b>担</b> ※今年度は、特定の科目を担当しません

<b>森田 裕史</b> 准教授 <b>専</b> マクロ経済学、時系列分析
<b>研</b> 金融財政政策の効果に関する実証分析
<b>担</b> 実証経済学基礎B

<b>&lt;修士後期課程&gt;</b>	統計学A/B(各2)
<b>国際・地域</b>	日本経済論A/B(各2)
応用マクロ経済学A/B(各2)	法と経済学A/B(各2)
応用ミクロ経済学A/B(各2)	ミクロ計量分析A/B(各2)
開発経済論A/B(各2)	労働経済学A/B(各2)
経済地理学A/B(各2)	
国際金融論A/B(各2)	
国際経済論A/B(各2)	
地域経済論I A・B/ II A・B(各2)	
統計学A/B(各2)	
日本経済論A/B(各2)	
<b>応用ミクロ・応用マクロ・計量</b>	
応用マクロ経済学A/B(各2)	
応用ミクロ経済学A/B(各2)	
企業経済学A/B(各2)	
現代ビジネスA/B(各2)	
公共経済学A/B(各2)	
上級マクロ経済学A/B(各2)	
上級ミクロ経済学A/B(各2)	

<b>&lt;博士後期課程&gt;</b>	博士ワークショップA/B(各2)
論文指導III A/B(各2)	
論文指導IV A/B(各2)	
論文指導V A/B(各2)	

<b>「金融」「ファイナンス」を研究テーマにして博士後期課程進学を目指す方の履修科目例</b>	
<b>M1(修士1年)</b>	計量経済学A/B マクロ経済学A/B ミクロ経済学A/B
<b>M2(修士2年)</b>	専攻分野「金融・企業」 金融経済学 金融システム論 実証ファイナンス 論文指導II 修士ワークショップ

### 「博士5年(Ph.D.)プログラム」修士課程履修科目例

<b>※「修士ワークショップ」において「研究報告書」中間発表</b>
<b>※この履修例は、「修士(M.A.)プログラム」の履修要件も満たす</b>